



## 第28回日韓高校生交流キャンプのご案内（高校生対象・有料）

新学期が始まったばかりですが、夏休み中に実施されるイベントの案内が早くも届いています。お隣でありながら知らないことが意外と多い韓国で同年代の高校生と交流し、ソーシャルベンチャー起業体験をするプログラムです。韓国では大学受験に向けての競争が厳しいことはご存知かと思いますが、あちらの高校生はどんなことを感じながら日々過ごしているのかを知るいい機会になると思います。興味のある生徒諸君は検討してみてもいいでしょうか。以下、プログラムの概要を記載します。



### 第28回日韓高校生交流キャンプ

主催：一般社団法人 日韓経済協会

日程：2025年7月31日（木）～8月3日（日）3泊4日

メタバースオンライントレーニング：2025年7月12日（土）オンライン参加（必須）

開催場所：韓国ソウル「ハイソウル・ユースホテル」3名1室

募集人数：日本、韓国の高等学校在学学生各15名（計30名）

対象：交流への意欲が強い人（相手国の言語で会話できる必要はありません。）

高校生で日本国籍を有する者。外国籍の場合は、日本の永住権を有し、かつ日本に居住する者

応募方法：下記 URL あるいは QR コードから所定参加申込入力、保護者の同意を得てから提出。

募集期間：2025年5月9日（金）～18日（日）18時まで

参加者決定連絡：5月23日（金）

\*応募多数の場合は、主催者側で申し込み内容、学校別、男女別、学年別のバランスを勘案して選抜。参加決定者宛に個別メール連絡。（連絡は参加決定者にのみ致します。）

費用：30,000円

その他、宿泊・移動・食事・交流プログラム費用は主催者負担。但し、羽田空港まで・からの交通費は各自負担。

事前説明会：2025年7月5日（土）午後 東京にて開催予定。

### 日程案

7月31日（木）

集合 羽田空港→金浦空港

チームビルディング 問題の発見 事業アイテム模索 企業訪問準備

8月1日（金）

未来モビリティ企業訪問 特別講義 未来モビリティショー（デジタル能力強化）漢江クルーズ

8月2日（土）

ソーシャルベンチャー企業訪問 ソンスドン訪問（ポップアップストア体験）  
アイデアの具現化（メイキング活動） 模擬ピッチ（表彰式・修了式）

8月3日（日）

金浦空港→羽田空港 解散

申し込み先：<https://forms.gle/eFD1Wr8Tx9wNV58r8> 又は



申し込みは各自でお願いします。部活動をしている生徒は合宿の有無・期間を顧問の先生と確認しておいて下さい。高校2・3年生は本校の講習期間と重なります。まだ開講科目は発表されていませんが、交流キャンプ参加決定後に自己都合でキャンセルするようなことは絶対ないようにお願いします。選考結果は学校側には届かないため、もし選考を通過した場合にはグローバル教育部へ報告をお願いします。

ご参考までに昨年このキャンプに参加した本校生徒の感想文がグローバル通信143号に記載されております。以下 URL よりご覧いただけます。

<https://www.kaijo.ed.jp/wp-content/uploads/2024/09/8cd770854967ca03fa997b22b555bc88.pdf>

## カナダ短期留学帰国報告

前号で紹介できなかった参加生徒の感想を掲載します。今年度の応募を検討している生徒諸君は参考にして下さい。アルバータ州エドモントンでのプログラムです。



僕がこの3ヶ月弱のカナダ短期留学を通して得られたこと、感じたことを以下に記したいと思います。

英語力の伸びに関しては、会話等に特に不自由がなかった為、他の人と比べると成長の幅はそれほど大きくなかったかもしれません。しかし、それでもカナダへの留学は本当に価値のあるものでした。何故かと言うと、英語力ということよりも「人へ感謝の気持ちを持ち、それを伝えることの重要性」に気づけたことが大きな理由です。

カナダでの時間が10週間と限られているからこそ、この期間をより濃く充実させるために「人とどう関わっていくか」を特に意識して過ごしました。

僕が10週間後にはまた日本に帰ると知っていながらも毎日話しかけてくれて、仲良くしてくれた友達。学校での生活をより快適で楽しいものにしてくれた校長先生や先生方、そして安心安全の場を提供してくれたホストファミリー。彼らには何度伝えても足りないくらい、心からの感謝の気持ちを持っていますし、カナダへ行く前は自分がここまでの感情を持つとは思っていませんでした。

僕は人は経験によって形作られていくと思っています。カナダへ行くための飛行機代のように、経験の一部はお金で手に入るかもしれませんが、しかし、経験を色付けし、価値あるものにするのは“人”であり、人とのつながりはお金では買えません。

しかし、これはカナダ留学に限った話ではありません。これまで関わってきたすべての人に対しても同じです。僕が今こうあるのも、周りの人たちのお陰であり、その人たちに感謝しなければならないと、この期間を通じて改めて思いました。この考えに気づけたことこそ、何よりも価値のあることであり、それは、勉強以上に、そして2か月半という時間以上に、僕にとってかけがえのない成長であったと感じています。



正直、3ヶ月では物足りなかったというのが率直な感想だ。今も時々、向こうは今何時なのだろうかと思う時がある。そう思わせてくれるぐらい、この留学体験はいい意味で印象に残った。

カナダに行く前、色々な人に「なんでお前がカナダなんかに行くの?」と聞かれることがあった。その時の答えはシンプルに「英語力を伸ばしたい」ということだったし、それがいちばんの収穫になるとも思っていた。しかし、実際に現地に行ってみると英語力以外のものの収穫の方が大きかったのには驚かされた。その中で、個人的に最も印象に残っているのはカナダの多様性だ。カナダという国は一般に言う移民国家であり、人口の4分の1が移民である。周りを見渡すとほぼ全員が日本人という環境で今までの人生全てを過ごしてきた自分からすると、それは全く新しい状況であった。ホストファミリーは純度100%の中国人で、家は英語と漢字が混ざった世界というカオスなものであった。一方で学校では、ヨーロッパ、東南アジア、インド、中東、アフリカなど様々な国の人たちが、生徒や先生といった立場に関わらず混在しており、その環境を活かしたイベントが多く行われていたこともあって、私は滞在中、色々な文化に触れることができた。特に印象に残っているのが昼休みの、昼食の時間。昼食は日本と同じように、何人かで集まってお弁当を食べることが主であったが、一人一人弁当のスタイルが全く違ったことはとても面白かつたし、多文化理解という点で、自分の視野を広げるきっかけにもなった。他にも、ここに書き留めきれないぐらい多くの収穫があった。

あの3ヶ月は間違いなく人生で一番成長できた時間であり、自分の中の世界観がガラッと変わった時間であった。帰国後にしばしば自分にそのような経験だった思わせてくれる、また、現地での生活を思い起こさせてくれる経験であったと思っている。

またカナダに行きたいか、と問われたら間違いなくイエスと答えるだろう。出発前に、過去行った先輩は例に漏れず3ヶ月は短いと答えていると言われた。その通りだった。もう少し時間があれば、という思い残したことも沢山ある。一方で、カナダの人の優しさや温かさに触れられたというのも事実だ。最終日にはいろんな人がお別れレターやちょっとしたプレゼントをくれて、寂しさや悲しさで泣きそうになった。また彼らには必ず会いたいと思う。そして次会う時は、今よりもっと成長した姿で再会をしたい。



## アメリカ・セントジョンズベリー校より訪日団来校

本校公式HPでは既にご報告しましたが、本校中学3年生を対象にしたアメリカ海外研修でお世話になっているバーモント州のセントジョンズベリーアカデミー(以下SJA)より先生2名、生徒9名が4月25日に来校されました。SJAでは選択科目として日本語の授業が開講されており、本校のアメリカ研修のように日本を訪問するプログラムが4月中旬に実施されます。一行は長崎、広島、京都などを回って行程の最後に本校をお訪ね下さいました。今回引率の社会科主任のEckhardt先生は以前海城生をホストファミリーとして受け入れて下さったそうで、今でも交流が続いていると仰っておられました。来校した9名のSJA生の中で3名が3月に本校が渡米した際にホストファミリーとして海城生を迎えて下さいました。帰国して1ヶ月も経たない間に、今度は海城で再会できたというのはお互いに特別な思い出になったことでしょう。一行は高校1年生の教室で生徒諸君が企画してくれたレクリエーション活動に参加して、交流を深めました。短い滞在ではありましたが、和やかな時間を共有することができました。高1学年団の先生方、生徒諸君にこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。



4月25日 本校正門前で